

地元などの反対運動で営業を断念



営業を断念した絶叫マシン

ドン・キホーテ 港区六本木店 屋上の絶叫マシン
 総合ディスプレイカウントラストア・ドン・キホーテは、十二月八日、六本木店の屋上に建設し、二十一日開業を予定していたコースター「ハーフパイプ」(絶叫マシン)の開業の延期を発表。事実上営業を断念しました。この施設をめぐるのは、深夜に及ぶ騒音や環境悪化を心配する地元商店主や住民らが猛反発し、反対運動が広がっています。

た。地域住民のみならず、運動が、開業の延期、実質的な中止になったものです。同社が同日、港区などに通知した文書によると、「反対運動等に屈するつもりはいささかもありません」が、「運営中止・施設の撤去も視野に入れている」としています。問題の施設は八階建の同店屋上に設置、スノーボードなどの「ハーフパイプ」を模した全長約五十二メートルのU字形レールの上を十二人乗りのボードが走路を往復する大型遊戯施設です。ボードは、高さ二十一メートルからリニアモーター駆動で猛スピードで滑降します。地上から施設最上部までの高さ五十メートルを超えます。

この施設に対し、六本木商店街振興会や六本木町会など地元十団体は、「深夜まで騒音や叫声が響きわたる。環境が悪化し、子供たちへの影響も心配」などとして、設置に反対する請願を港区議会に提出し、全会一致で採択されていました。



十二月十五日、「青山・赤坂にコミュニティバスを走らせる会」のみなさんと風見区議は、「青山・西麻布にコミュニティバスを走らせて」と、担当課長らと交渉しました。(写真)。

担当課長も、「ちいばす」の運行以来、「交通不便地域にバスを運行して」との声がたくさん寄せられている。区として見区議は、支所機能が強化されることもあり、支所にいく区民が増えるのに、足がないのはおかしい、買い物にも不便している多くの人のためにも、青山通りや西麻布地域のバスを運行するよう求めました。

引き続き、意見交換の場を設け、話し合いを続けていくことが確認されました。

介護保険 基準の保険料が 三二五〇円から四六五〇円に大幅値上げ

区は、第三期(一八年度から二〇年度)の介護保険料の見込みを発表しました。

これによると、現在六段階の保険料のランクを一〇段階にすることや、基準の保険料額が四六五〇円になることが盛り込まれています。なかには倍以上の保険料額に引き上げられる方も出ています。

これは、自民・公明の小泉内閣による、公的年金控除の縮小や老年者控除の廃止、定率減税の半減、非課税限度額の廃止の高齢者への四つの増税・負担増が同時に行われる結果です。これでは、生活自体がなりたちません。また、介護保険制度は国が二五%負担することになっていますが、港区の場合は二二・二二%しか国が負担していません。これがらもういろいろのご意見をお聞かせください」と述べ、約一時間にわたって意見交換を行いました。

交渉に参加した会のみなさんそれぞれが、買い物、病院、福祉会館、浴場、支所等々、日常生活のために、青山通りや西麻布地域に「一日も早くバスを走らせて」とも求めています。

引き続き、意見交換の場を設け、話し合いを続けていくことが確認されました。



裏面もご覧ください。

風見利男 (日本共産党 港区議会議員) 区政とあなたを結び

122

Email kazami@jcp-minatokugidan.gr.jp
 H P http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp/

政治革新の道しるべ 真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊 2,900円 日曜版 800円

マンションの構造調査に助成を

耐震偽装事件で区長に要請



耐震偽装が明らかになった芝大門のマンション

日本共産党港区議団は十二月九日、武井雅昭港区長に、「『構造計算書』偽装事件に関わる要望書」を提出しました。

風見利男区議団長は「代表質問でも取り上げたが、事件も広がり国の対応も含め、刻々状況が変わってきている。党議員団としても説明会に参加したり、被害者の方から声も聞いている。改めて区に対応を求めたい」と要望しました。

要望書は、シノケンに対し、居住者への補償、近隣住民の移転補償など、責任ある対応を行うよう、指導と監視をすること、

倒壊の危険が指摘され

た三棟の解体は、区としても関係住民、近隣住民の要望を良く聞き、早急に完了するように努力すること、当該建物については、危険建築物である旨、表示すること、専門家の協力も含め総合的な相談窓口を設置すること

マンションの構造検査の助成を行うこと、港区が行った、過去五年間の建築確認を調査すること、建築確認事務については建築行政に責任ある公的機関で実施するよう関係法令の改正を国に求めること、など八項目。

区長は「国には改善を求めていく。解体などについての建築主への指導

は十分に行っていく」と答えました。

武井区長に要望書を提出する党区議団(12月9日)



小・中学校卒業アルバム代や補助教材費の一部助成

党区議団の条例提案を受け、教育委員会で検討

党区議団は、小・中学校の卒業アルバムが学校規模等によって、父母負担に大きな違いがあることから、父母負担の軽減、格差是正の立場から、教育委員会として卒業アルバム作成費の助成を行うよう提案してきました。しかし、教育委員会がまじめに検討をしておこなったため、港区立小学校及び中学校卒業記念アルバム等作成費の補助に関する条例(一万円(約七千二百万円)を限度に補助するもの)を提案しました。各会派に条例の共同提案をよびかけ、党区議六名を含め八名で提案し、区民文教委員会に付託されています。

条例提案を受け、教育委員会でも父母負担の軽減について、二〇〇六年度からアルバム代、社会科見学の費用、補助教材費、検定費用などの助成のための予算要求

をして、していることを明らかにしました。父母負担の軽減を求め、みなさんの声を議会でも取り上げ、条例提案が結果的に区の施策として実現することになりました。



芝浦中央公園のフットサル場、三月オープン

一月二十一日から団体登録の受付開始

区立のフットサル場の第一号が、三月一日にオープンします。場所は、港南一丁目四番の水処理センターの上にある芝浦中央公園です。(品川駅から徒歩十分)利用料は一時間当たり六百円と気軽に利用できる料金です。照明料も一時間六百円で、利用する場合は、ス

ポーツセンターに団体登録して、申込みは二カ月前から「スポーツネット」で受付、抽選となります。団体登録の受付は一月二十一日からはじまります。区立のフットサル場が設置されることになったのは、日本民主青年同盟港地区委員会の青年が中心となって、民間のフツ

トサル場は一時間一万円もすること、なかなか利用できないことなどから、気軽に利用できる料金の「区立フットサル場をつくって」と長年運動してきたこと、青年の声を受けて、党区議団も機会あるごとに質問・提案してきました。二番目は、芝浦ルが

プールとして利用しない期間に蓋かけして、フットサル場として利用するものです。七月完成をめざして工事中です。

